



— 零 —
愛おしい
— ほんにも

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

N×Cthermit

ザ
ア
ア
ア
ア

その日の雨は
朝からの快晴が嘘のように
突然降り始めた

まさか本当に降るなんてな…
傘置いてくるんじゃないか

仕方ない
ここで休ませて
もらうか

その古書店には
雨宿りのために
偶然立ち寄った

ガラガラ

初夏だというのに店の空気は冷たく
そして外界の喧騒から切り離され
耳が痛いほどの静けさに包まれていた

その中でささやくような
本のページを捲る音が
時折聞こえて来る

俺はその音に
引き寄せられるように
店の奥へと向かった

パラ

パラ

パラ



そこに彼女はいた

パラ...

色あせた古書に囲まれた彼女は薄闇に輝く一等星のようで

ただ美しかった



あ、

今思えば俺はその瞬間に

彼女に恋をしたのだと思う



彼女の名は
鶯沢文香

そして俺は
彼女を――

スカウト
しよう
と
決めたんだ

そして彼女は
アイドルとしての
一步を踏み出した

皆聞いてくれ
今日から入った新人だ

鷺沢文香……と申します
不束者ですが
どうぞ宜しくお願い致します

初めは
不安だったが

他のアイドルたちとも
すぐに打ち解けたようだ

はいワンツー

もっとなま先まで伸ばして!

スリーフォー

はい!

ほら笑顔
忘れてる!

はい!

それから連日の
厳しいレッスン
にも耐え

大丈夫か?
オツカレ!

大丈夫か?
オツカレ!

大丈夫か?
オツカレ!

へなっ……

大丈夫……です
二れ程とは……

初めての
ミニライブも
成功させた



頑張っ
て！
会場ま
でもう
すぐだ
から！

ごめん！
次のオー
ーディ
ション
まで時
間がな
いんだ

走れる
か？

は、は
い…

仕事を取
るために
色々なオ
ーディシ
ョン
会場へ駆
け回り

他にもC
Dの
対面販
売をし
たり



たっ
たっ



慌ただ
しい
過ぎて
いった



どよ
ん

また
落ち
ました…

次が
ある
と

彼女と
出会っ
て
から
の数
ヶ月
は



はい新しいコラムのモデルとしても最適で

必ず効果が出ます!

やはり……視線を感じる

彼女はふとした瞬間に俺のことを目で追っていた



そんな折ほんの僅かな彼女の变化に気付いた

そこでこの子ですか



そうでなければ不器用な彼女が奥手な彼女が

はい……!

そんな笑顔を見せる理由があるだろうか



これは……そうだ

今回も良い条件で仕事が取れたよ

売り込みにもなるし今回も頑張ってたな

間違いない……間違えようがない



ちゅっ

まだ若い君の
一時の気の迷いなんだ

その感情はその状況の中で
吊り橋効果で生まれたもので



……

君はアイドルで
俺はその
担当プロデューサーだ



！！

は、



君のそれは――

その感情は――

一緒に
いかがですか？

本物の恋じゃない



そう、違う
違うんだ

そうだ
プロデューサーさん

この近くに
新しくブツクカフェが
出来たそうなのですが

たっ



乾杯!



プチライブの
成功を祝して

それじゃあ



某市ビジネスホテル

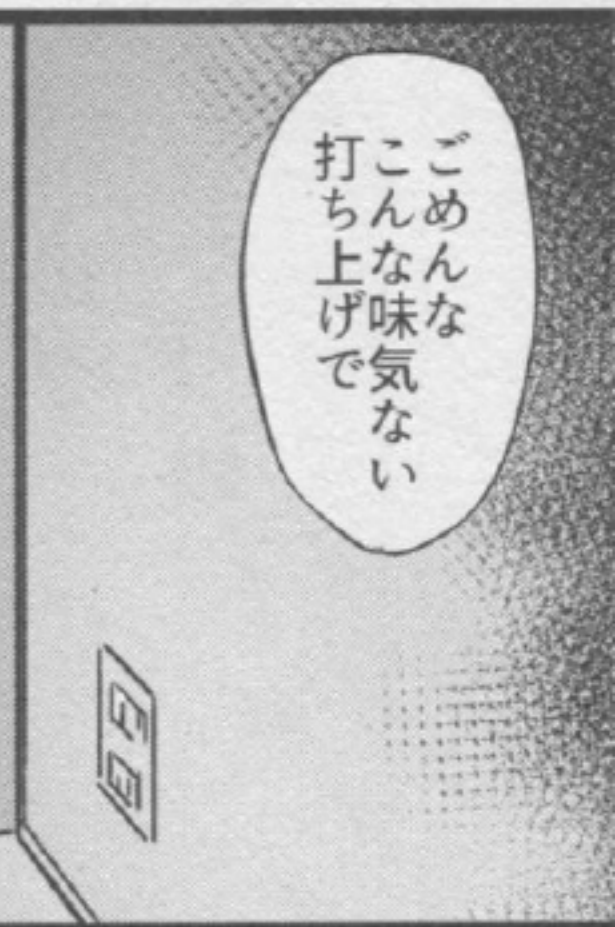


私にとっては……
これでも
十分すぎるくらいです

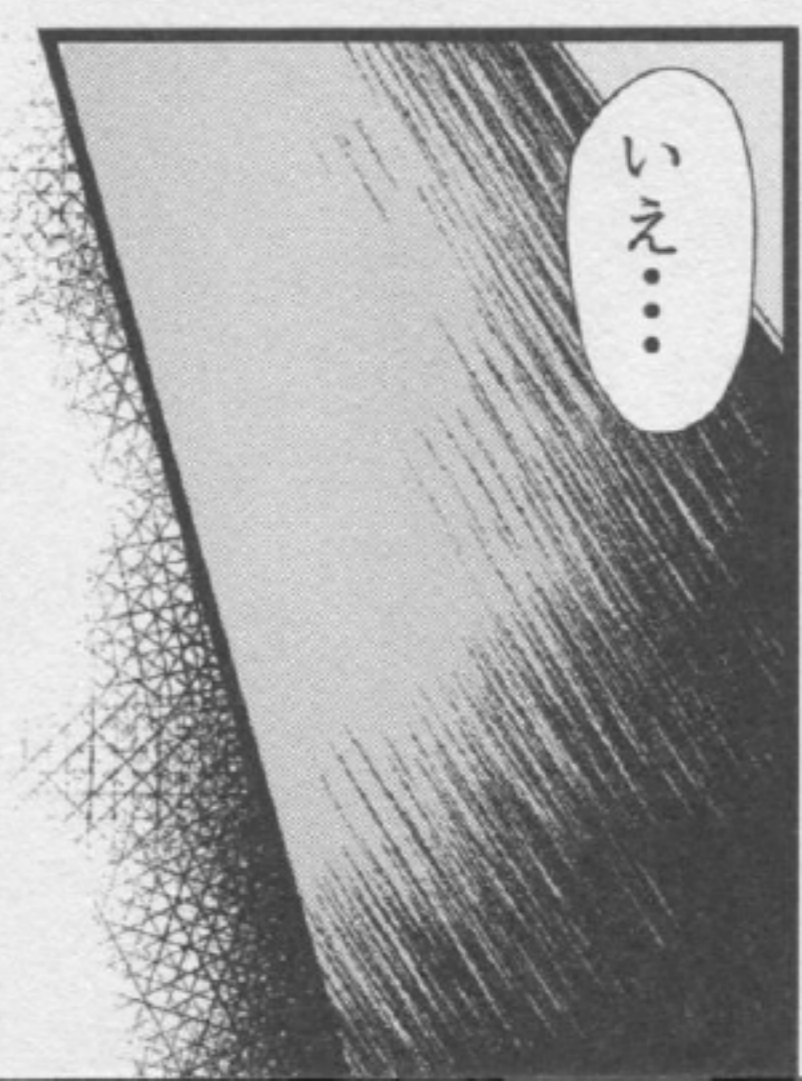
まただ……



もっと予算あったら
良いレストランでも
予約できたんだけど……



ごめんな
こんな味気ない
打ち上げで



いえ……



俺だって

気持ちを
抑えられなくなる

君に
そんな顔をされたら...

そんな顔をされたら



待って...

じゃ、じゃあ俺
自分の部屋に戻るわ

手が...
震えてる?

今日は
もう少しだけ

プロデューサーさんと
一緒にいたいです

!?

ぎゅっ



何を
やってるんだ俺は

ドクン
ドクン

わかっているのに

ドクン

抑えきれない

んっ…

相手は
担当アイドルだぞ

キキキ

はっ

んむっ

ふっ…

んんっ

んっ?

震えてる…
けれど抵抗しない

グッ

ロッ

ぐちゅ

ぐちゅ

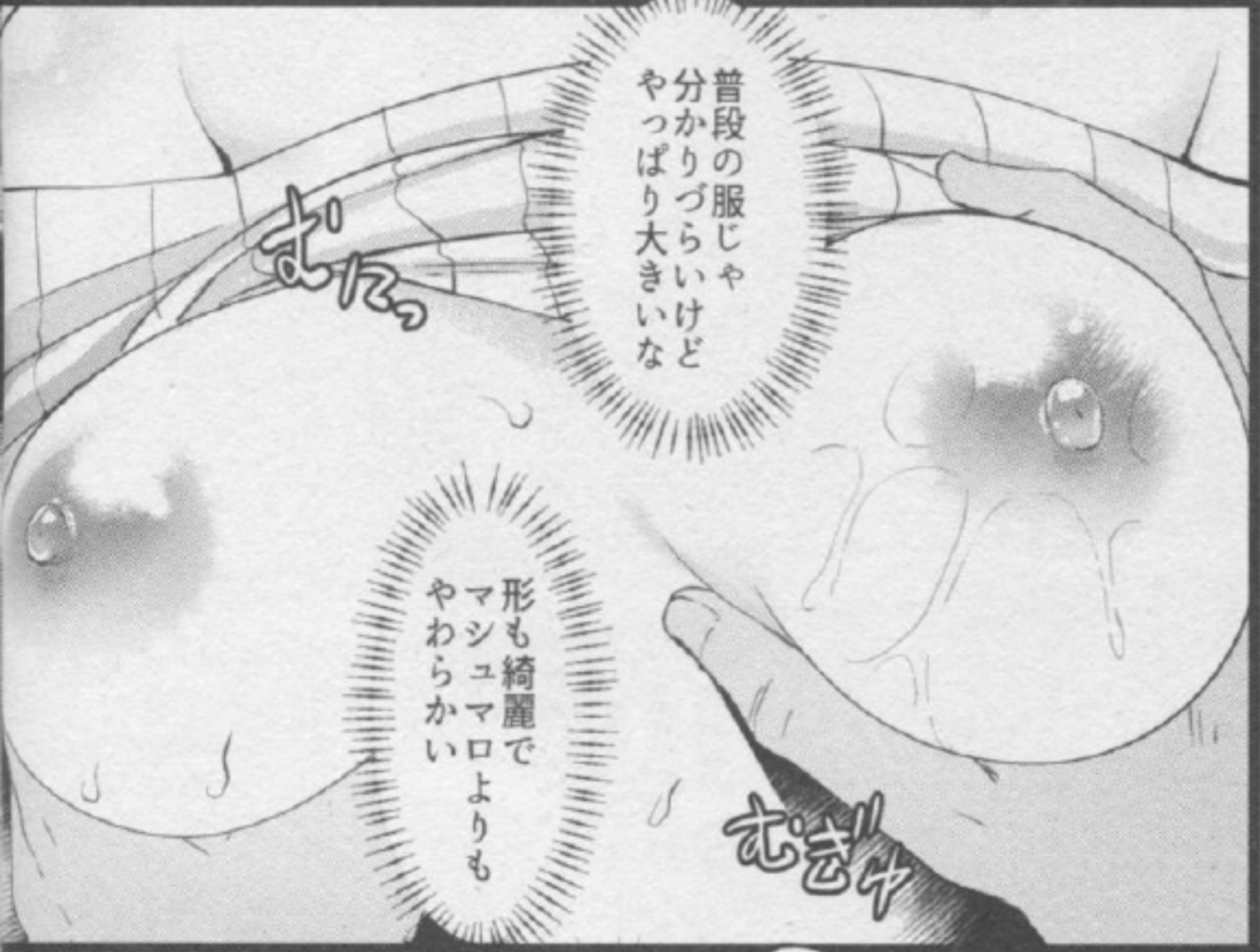


我慢出来るわけ
ないだろ……!

ひやあっ!!

ハッ

ムクッ

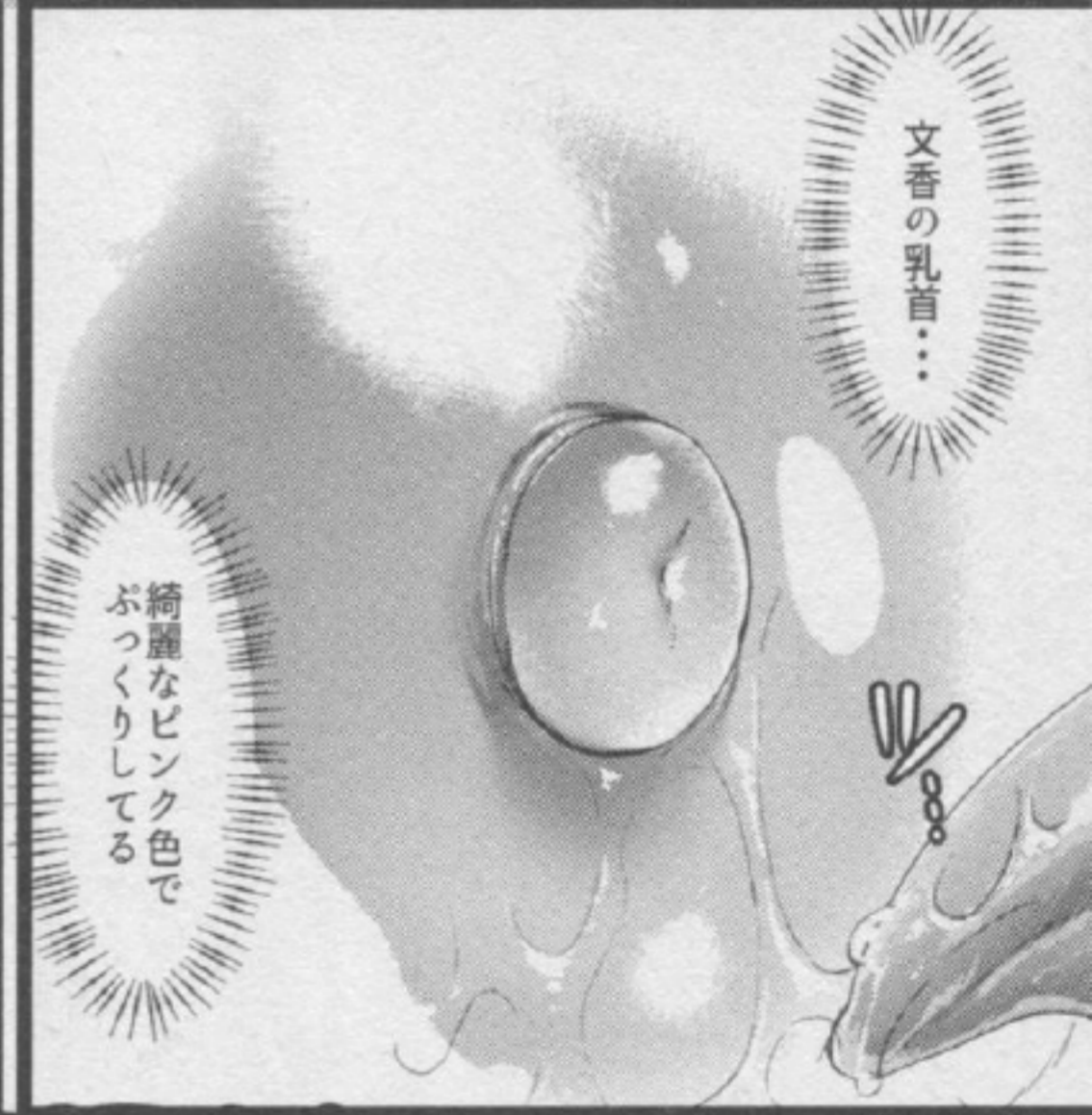


普段の服じゃ
分かりづらいけど
やっぱり大きいな

形も綺麗で
マシユマロよりも
やわらかい

おんん

むぎゃ



文香の乳首……

綺麗なピンク色で
ぷっくりしてる

ん



それからお腹周り……

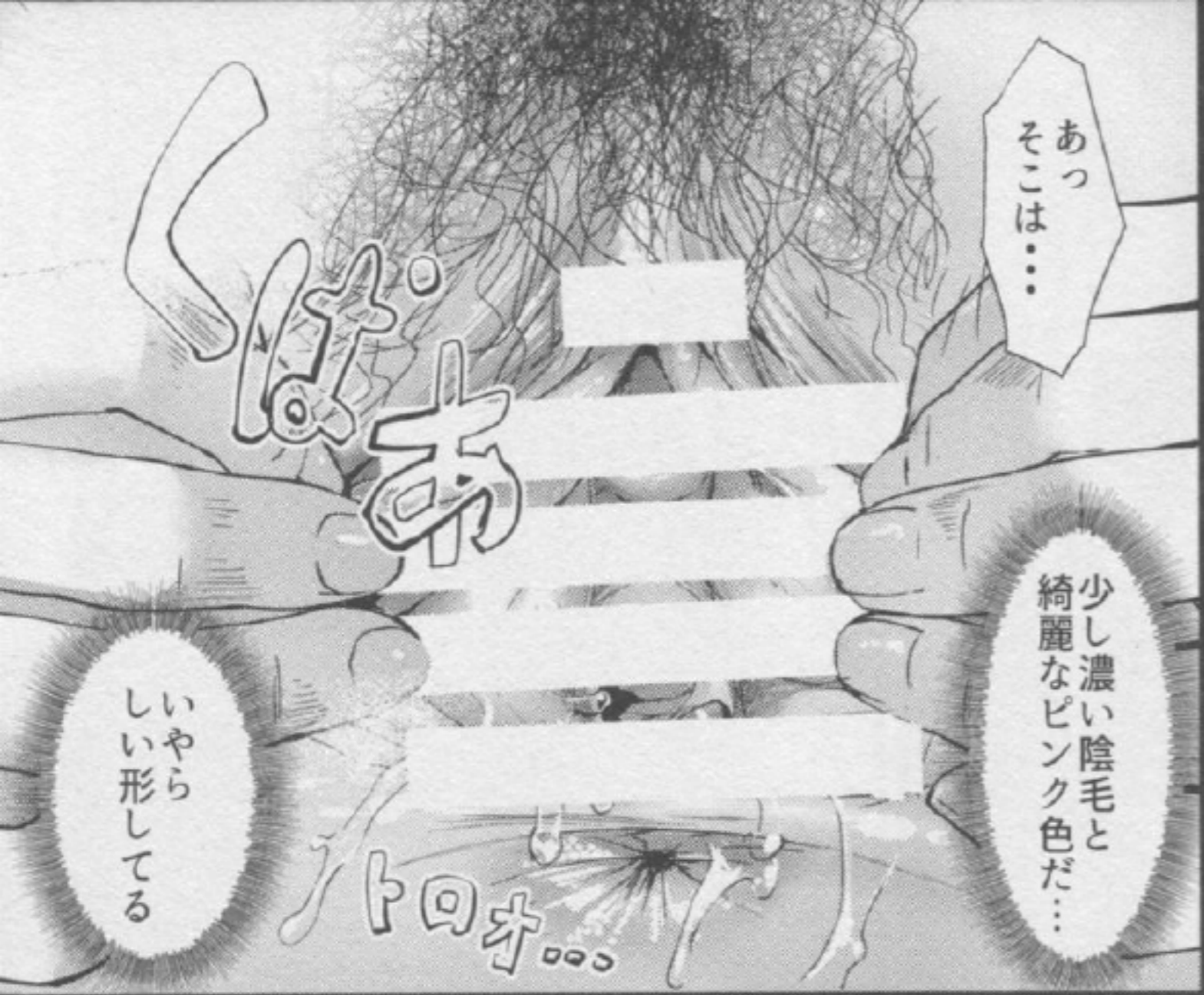
思ったよりも
筋肉があるな……

そうかトレーニングで……
文香も頑張ったんだな

んんん……

んんん……

んんん……



あつ
そこは...

少し濃い陰毛と
綺麗なピンク色だ...

いやら
しい形してる



デューサー...??

するっ



ダメです汗
かいてて...

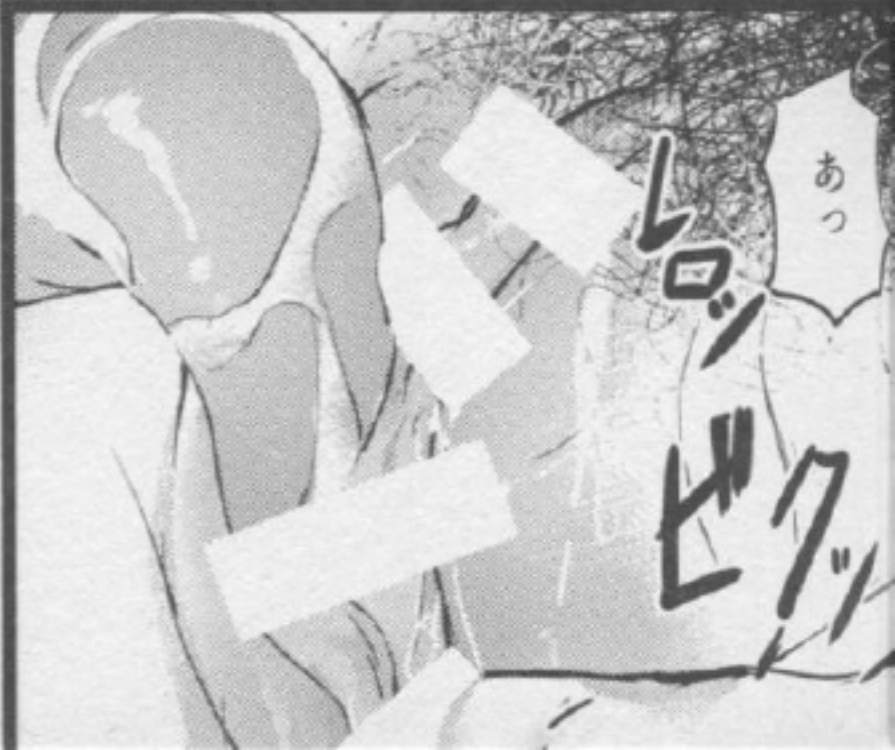
汚あつ...

あつ

文香に汚い
所なんてないよ



あつだめ...
ひっぱっちゃ







これが…プロデューサーさんの

精液…



そんな愛おしそうに…



ごめん文香…

いえ…



なあもう入れても

いい…よな？



は…い…



これは...





はあはあ

はあはあ

おおお

文香あつ!

はあはあ

プロデューサー……

はあ

あ

はあ

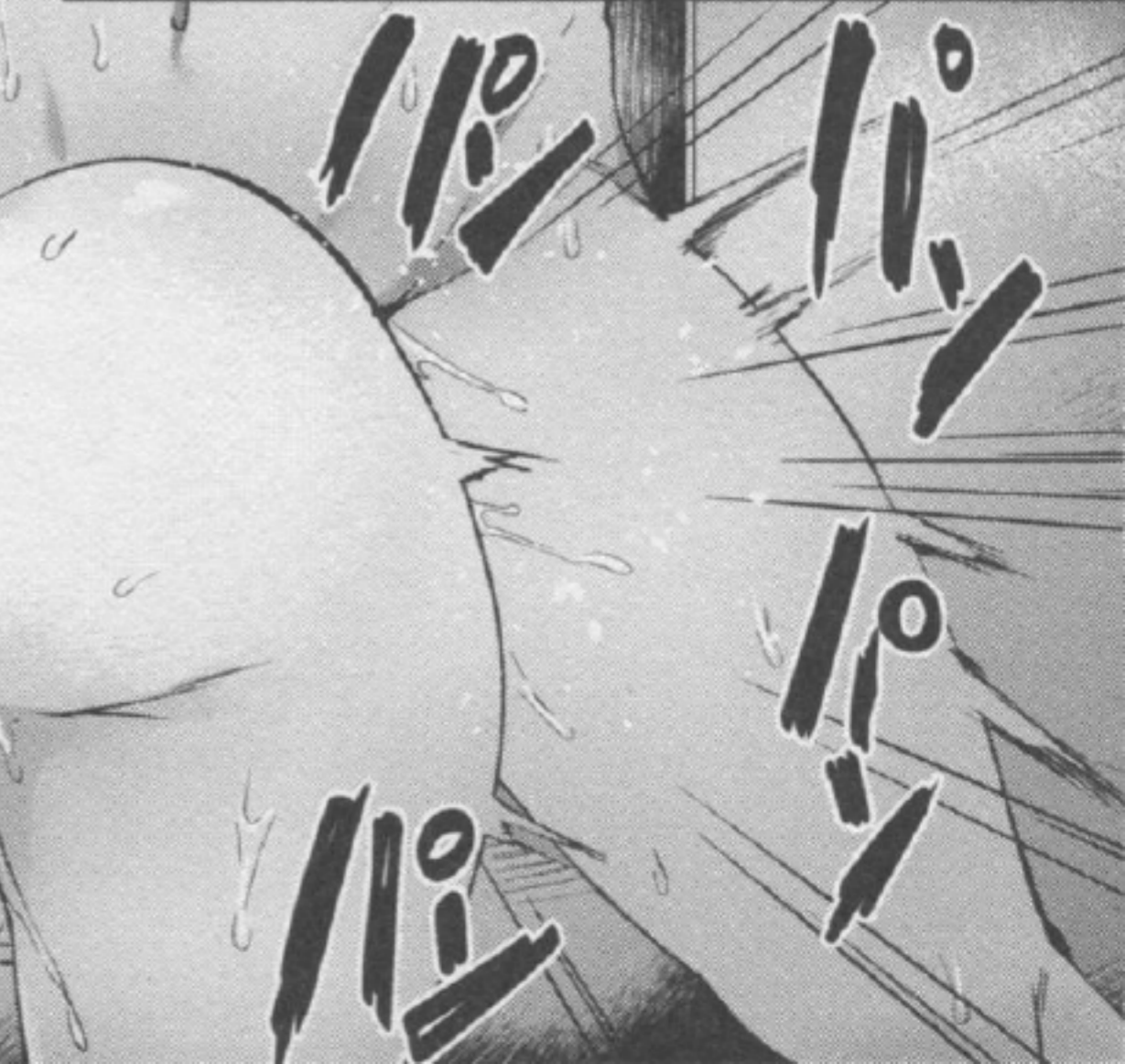
はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ

はあはあ





そんなに抱きつかれたら

文香……!!
俺もう……!!

ズッ



あッ
あッ
直接肌が擦れて……
気持ち良い……
あッ

あッ
いいですう!!
ん

ズッ

ズッ



あッ
あッ
あッ

私……っ
何か……っ
ん



あとがき

皆様はじめまして、そしてお久しぶりです。nohitoです。
この度はこの本を手にとって頂き
またここまでお付き合い頂きまして誠にありがとうございます。

今回はPと文香の出会いと、19歳の少女の恋心に対するPの葛藤をメインにお話を描きました。
担当アイドルが好きで好きでたまらないのに手を出すわけには行かないというジレンマは
私を含めアイマスシリーズに接してきたほぼ全ての方が抱いているものだと思います。
多分。

そしてプロデューサーの数だけ世界があるのがアイマスだと思っていますので
Pと身体を重ねない文香もいれば、もっと淫乱な文香もいていいと考えているのですが
このシリーズの文香は弱小プロダクションのプロデューサーに一目惚れでスカウトされ
プロデューサーに初恋をした気持ちを伝えるのが下手な一人の女の子として設定しています。
同時にプロデューサーも貧乏プロダクションのサラリーマンで文香と比べて特別大人という
わけでもない平凡な青年として描きました。そんな二人がアイドルとプロデューサーだなんて
特殊な環境で恋をしたら様々な葛藤が生まれるはずだ…それが今回のお話の出発点です。

そんな葛藤を振りきれないまま関係を持ってしまった二人のお話はその後「こんなにも愛おしい」
「こんなにも愛おしい2」へと続いていきますが、もう少しの間だけ0～1に至るまでのお話を
描いていきたいと思います。
独りよがりな妄想シリーズですが最後までお付き合い頂けると嬉しいです。
それでは、またお会いするその時まで。

nohito

奥付

■誌名■

こんなにも愛おしい零(ゼロ)

■発行■

N×Cてるみっと

■著者■

nohito

■発行日■

2016年8月14日

■印刷■

マツモトコミックサービス様

■Twitter■

@nohito_nohito

■連絡先■

<http://from1.fc2.com/from/?id=755403>

Printed by

mcs

MATSUMOTO COMIC SERVICE

こんなにも

愛おしい

—零—



2016 SUMMER
N×Cthermit